

かつもんびょう  
**褐紋病**

病原菌名 *Mycosphaerella pinodes*

発生条件

発病適温は25℃。種子伝染し、排水不良な湿地、重粘土のほ場で発生が著しい。



黒褐色のごく細かい斑点ができ、次第に大きくなって周りは淡褐色、中央部は黒紫色の輪紋を形成する。



茎では褐色～暗褐色の紡錘形の病斑ができる。後にくぼんで、黒色の小粒(柄子殻)を形成する。

かつぱんびょう  
**褐斑病**

病原菌名 *Ascochyta pisi*

発生条件

発病適温は28℃。種子伝染し、排水不良な湿地、重粘土のほ場で発生が著しい。



葉では、周縁が明瞭な濃い褐色に縁取られた斑点を形成する。



莢では、病斑部がくぼみ、小粒ができる。